

JPNIC

第74回・第75回

総会報告

2024年度事業計画・収支予算

2023年度事業報告・収支決算

新役員のご紹介

2024年3月の総会では2024年度事業計画・収支予算が、6月の総会では2023年度事業報告・収支決算・新役員が会員の皆さまに承認されました。本稿では、それぞれの概要についてご紹介します。

※1

第74回JPNIC総会(臨時)の資料・議事録
<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/general-meeting/20240315/>



※2

第75回JPNIC総会(通常)の資料・議事録
<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/general-meeting/20240618/>



第74回JPNIC臨時総会(2024年事業計画・収支予算)※1

2024年度事業計画

JPNIC全体に関わる事項

2021年度に再設定した「JPNICの理念」を踏まえ、実現に向けた中期的な事業方針に沿って取り組みを進めることとしています。特に、JPNIC会員の皆さまと価値観を共有しながら、JPNIC会員であることの価値を見出していただけるような情報提供や連携の取り組みを進めます。

法人運営体制や財源については従来通りですが、事業安定遂行のための人事制度の検討、人材確保等に努めていく計画です。

IPアドレス事業

次の項目を注力項目として設定し、業務を推進していきます。

- 認証方式の変更とレジストリシステム見直し計画の推進
- APNICの料金体系改定への対応
- ROA(Route Origin Authorization)作成およびROV(Route Origin Validation)の普及に向けた取り組み

インターネット基盤整備事業

詳細な現状認識と課題分析を踏まえて、対処に関して、七つの注力項目を設定しています。

- インターネット資源をはじめとする基盤に関わる基礎情報の発信と浸透
- インターネット基盤に関わる人材育成への取り組み
- インターネット技術と社会をつなぐ社会課題への取り組み
- インターネットガバナンスへの取り組み
- インターネット基盤のセキュリティ技術普及
- 技術標準に関連する国際動向や社会課題に関する情報流通および啓発活動
- 調査研究能力および情報発信能力の進展

2024年度収支予算

収支はほぼ均衡で、2024年度予算と前年度予算の比較は次の通りです。事業収益の増加に伴う費用増で約1,000万円増を見込むほか、事業計画案にもあった人事制度検討にあたっての費用として500万円、また人員増を含めた配分等の見直しによって人件費600万円増を見込んでいます。その結果、経常費用に関しても前年度予算比で約2,100万円増となり、当期経常増減額は△2,700万円となりますが、このうち非資金科目である減価償却費が2,659万円含まれていることから、これを除いた損益ベースではほぼ収支均衡となります。現預金残高の見直しから期中の資金繰りに問題はなく、引き続き収益確保、費用抑制、効率化に努めてまいります。

経常収益予算	528,600,000円 (前年度比 +20,370,000円)
経常費用予算	556,550,000円 (前年度比 +21,310,000円)

当期経常増減額	-27,950,000円 (前年度比 -940,000円)
正味財産期末残高	2,238,440,000円 (前年度比 -28,020,000円)

会員の皆さまにお諮りした結果、2024年度事業計画、2024年度収支予算とも、上記の内容にて承認されました。

第75回JPNIC通常総会 (2023年事業報告・収支決算、新役員選任) ※2

ここでは2023年度に実施した事業の内容に関して、ポイントとなる点を中心にお伝えします。
事業報告書では、グラフや写真を織り交ぜつつ読みやすくまとめているので、総会資料も併せてぜひご覧ください。

2023年度事業報告

JPNIC全体に 関わる事項

- JPNICの理念に基づき、法令・定款に則り、2023年度事業計画と収支予算に従って、「IPアドレス事業」および「インターネット基盤整備事業」の2事業体制で安定的な法人運営を行いました。
- 「JPNICの理念」実現に向けた課題検討について、役職員を交えたグループごとの議論の内容を、3月の総会にて「JPNIC 中期的な事業戦略と方針について」として会員の皆さまに報告しました。2023年度は3会員の新規入会がありました。

IPアドレス事業

「資源管理業務」をメインとして、「資源管理業務」「ルーティングレジストリ業務」「方針策定・実装業務」「国際調整・連携業務」「調査研究業務」「情報提供業務」と六つの業務分野があるうち、2023年度は「資源管理業務」「ルーティングレジストリ業務」「国際調整・連携業務」の三つを注力項目として設定し、右記のように取り組みました。

- 「資源管理業務」
 - ・電子証明書に変わるユーザ認証方式への移行に向けシステム開発を完了
 - ・APNICと整合したJPNIC文書体系への見直しを行い、作業を継続中
 - ・レジストリシステムの見直しについて計画の具体案を検討
- 「ルーティングレジストリ業務」
 - ・PI割り当て先組織および経路情報未広告組織へのROA登録促進のための周知
 - ・2024年度のRPKIシステムのハードウェア更改に向けた準備実施
- 「国際調整・連携業務」
 - ・APNIC56の成功に向けた関連組織・団体との連携、運営協力実施
 - ・日本からのAPNIC56参加者のためのJPOP-ST連携による事前イベント開催
 - ・日本企業からのAPNIC56への協力、スポンサーを8社1団体獲得

インターネット 基盤整備事業

「情報センター業務」「普及啓発業務」「調査研究業務」「インターネットガバナンスに関する業務」「JPDメイン名に関する業務」「新たなドメイン名に関する業務」の六つの業務分野のうち、2023年度事業計画において注力項目を設定した五つの領域について、右記のように取り組みました。

- 「情報センター業務」
 - ・Web、メールマガジン、JPNICブログ、会報誌Newsletter、インターネット白書、SNS等での情報発信の実施
- 「普及啓発事業」
 - ・Internet Week ショーケースおよびInternet Week 2023、技術セミナー、「インターネット入門」等の開催
 - ・インターネットの技術・運用・政策・制度等に関する普及啓発
 - ・国際会議参加支援プログラムの実施
- 「調査研究業務」
 - ・ISPにおけるネットワークセキュリティ技術の導入、情報通信ネットワークアーキテクチャに関わる国際的な標準化活動に関する調査等の実施
- 「インターネットガバナンスに関する業務」
 - ・IGF2023のセッション提案を参加促進の情報提供を実施し、イベント成功へ貢献
 - ・日本インターネットガバナンスフォーラム2023、IGF2023報告会共催など国内IGF活動の推進
- 「JPDメイン名に関する業務」
 - ・データエスクローエージェント次期体制への移行を遂行
 - ・JP-DRP裁定例検索サイトの構築

2023年度収支決算

経常収益については、円安基調による外貨建て投資資産からの利息収入増加と、記念配当を含めた保有株式の配当増加が主要因で増収となりましたが、APNIC会費の算出式変更による増加に加えて、前年度より円安が進んだことで前年度実績よりも増加したこと、Internet Weekの収支増加などで費用も増加しました。特定資産評価損益を除いた当期経常増減額は、2022年度とほぼ同水準、正味財産期末残高は2023年度末で23億6,000万円となり、引き続き十分な水準を維持しています。

経常収益	624,259,415円 (前年度比 +12,367,894円)	経常増減額	154,963,567円 (前年度比 +53,026,874円)
経常費用	531,730,461円 (前年度比 +14,879,459円)	正味財産期末残高	2,360,387,637円 (前年度比 +141,243,897円)

会員の皆さまにお諮りした結果、2023年度事業報告、2023年度収支決算とも、上記の内容にて承認可決されました。

新役員を選任

また担当理事設置分野として、新たに「インターネットガバナンス」を加えた体制で今後の事業を実施してまいります。選任された役員の一覧とそれぞれの役割については次ページの「新役員のご紹介」をご覧ください。

また、長年にわたり理事としてご尽力いただいた後藤滋樹氏（早稲田大学名誉教授）は、役員退任に伴い、鈴木幸一氏（株式会社インターネットイニシアティブ 代表取締役 会長執行役員）と村井純氏（慶應義塾大学 教授）に加えて、顧問としてお迎えしました。

第75回JPNIC総会では役員改選も行われ、理事20名、監事3名が選出されました。それに続いて行われた第160回理事会で、理事長に引き続き江崎浩が選出され、曾根秀昭と、新たに長谷部克幸の2名が副理事長として選出され、3名の代表理事のもとで新体制が発足しました。

JPNIC 顧問一覧

(五十音順)

後藤 滋樹	早稲田大学 名誉教授
鈴木 幸一	株式会社インターネットイニシアティブ 代表取締役 会長執行役員
村井 純	慶應義塾大学 教授

新役員のご紹介

役職順に五十音順、氏名の下は所属、
中段 枠内はJPNIC内での分担、
下段はこれからの2年に向けての抱負

(役員の写真は2024年6月18日時点のものです)

理事長(代表理事)

理事会
推薦



江崎 浩

東京大学 大学院
情報理工学系研究科
教授

執行理事・人事委員会委員・認証局運営委員会委員・
分野担当(インターネットガバナンス、セキュリティ、グローバル)

インターネットの発展と次世代に引き継ぐに資するデジタルインフラ基盤の整備・構築・運用を継続するために必要なことを引き続きできればと思っています。

副理事長(代表理事)

理事会
推薦



曽根 秀昭

東北大学
データシナジー創生機構
特任教授

執行理事・人事委員会委員・認証局運営委員会委員・
分野担当(DRP)

継続して多様なJPNIC会員様にご参加いただけるよう貢献したいと思います。JPドメイン名の紛争処理方針の分野では引き続き検討委員会のご協力も得て実施事例の分析や将来像に基づき安定した運用の実現が大切と考えます。

副理事長(代表理事)

理事会
推薦



長谷部 克幸

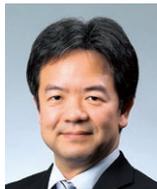
日本電信電話株式会社
研究企画部門
担当部長

執行理事・人事委員会委員・認証局運営委員会委員・BCM委員会委員長・
評議委員会担当理事・分野担当(インターネットガバナンス、ドメイン名)

生成AIのさらなる進化により、インターネットをベースとした情報通信基盤は、ますますその重要性が高まっています。基盤の健全な運用を支えるとともに、インターネットを取り巻く課題を国内外関係者と連携し解決に向けて取り組んでいきます。

常務理事

理事会
推薦



宇井 隆晴

株式会社
日本レジストリサービス
取締役

認証局運営委員会委員・
分野担当(技術的課題)

国際社会が分断の動きを見せる中で共生と協力の未来を築くため、あらゆるステークホルダーをグローバルにつながる包括的な協力と連携を促す社会基盤としてのインターネットの可能性を信じ、JPNICは何をすべきかを考えていきます。

常務理事

理事会
推薦



野村 純一

株式会社グンザイ
代表取締役

執行理事・人事委員会委員・認証局運営委員会委員・
資産運用委員会委員・BCM委員会委員・分野担当(社会的課題)

JPNICが、日本のインターネット基盤を支えるとともに、インターネットの発展と諸課題の克服に貢献する組織であり続けるように、役員員の力を結集するように努めることとします。特に、理念の実現に向けた戦略的な取り組みを推進することで、社会的な位置づけを向上するようにします。

常務理事

理事会
推薦



藤崎 智宏

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
情報セキュリティ部サイバーセキュリティ部門
第一グループ担当部長

執行理事・人事委員会委員・認証局運営委員会委員・
分野担当(IPポリシー、グローバル)

インターネットがインフラ化し、ますます安定・安全・安心なインターネットの実現が重要になってきています。JPNICの理事としても、IPv6導入、セキュリティ課題の解決等に取り組んでいきます。

常務理事

理事会
推薦



松崎 吉伸

株式会社インターネットイニシアティブ
基盤エンジニアリング本部 運用技術部
技術開発課 ソニアエンジニア

執行理事・人事委員会委員・認証局運営委員会委員・
分野担当(IPポリシー、IPv6推進、グローバル)

インターネット番号資源の管理体制は、社会情勢の変化や社会からの期待に応えるために対応を求められています。これはグローバルな傾向であり、JPNICもその中で責務を果たし、より豊かなインターネット社会の実現に向けて貢献したいと考えています。

常務理事

理事会
推薦



三膳 孝通

株式会社
インターネットイニシアティブ
技術主幹

執行理事・人事委員会委員・認証局運営委員会委員・BCM委員会委員・
情報セキュリティ委員会委員長・分野担当(インターネットガバナンス)

重要な社会基盤となったインターネットを、資源管理などの方面から支える公的な組織としての自覚を持ち、引き続き組織としての技術や信頼性を高めることなどで、発展および成長を実現していきます。

理事

理事会
推薦



浅井 大史

株式会社
Preferred Networks
インフラ戦略担当VP

分野担当(技術的課題)

生成AIの急速な発展にともない、インターネットの担う責務もより重要なものとなっています。一方で、日々新たな課題にも直面しています。これらの技術的課題・社会的課題に対して取り組み、社会基盤としてのグローバルなインターネットの維持発展に貢献していきます。

理事

会員
推薦



岩谷 理恵

株式会社
日本レジストリサービス
取締役 総務本部長

資産運用委員会委員

現在において、インターネットを利用しない生活は考えられない時代となり、社会的インフラとしてより一層重要とされています。人々が安心してインターネットを利用できるよう、何が出来るか、何をすべきかを考えながら社会的貢献できるような活動していきたいと思っています。

理事

会員
推薦



岡田 雅之

長崎県立大学
情報システム学部 教授

分野担当(セキュリティ)

みなさんこんにちは。九州や地域から学生や若手の技術者に、インターネットの重要性とその維持管理の難しさを伝える取り組みを継続してきました。これからもコンピュータネットワークの楽しさを伝えながら若い人々を巻き込んでいくことで、老いも若きも活発な、インターネットコミュニティが持続しつづけるための活動に取り組んでゆきたいです。

理事

理事会
推薦



クロサカ タツヤ

株式会社 企
代表取締役

分野担当(社会的課題)

さまざまな分野でマルチステークホルダーが標榜される昨今、その理想を体現するインターネットの価値を改めて社会に伝えること、またインターネットがよりトランスパレントな空間へ進化するための一助となれるよう務めてまいります。

理事

理事会
推薦



関谷 勇司

東京大学 大学院
情報理工学系研究科
教授

分野担当(ドメイン名)

昨今の混沌とした世界情勢においても、安定したインターネットを提供するために何ができるのか、その視点を忘れずに持ち続け、特定の権力に左右されないインターネットを維持する活動を行っていく所存です。

理事

理事会
推薦



鶴 昭博

株式会社JPIX
代表取締役社長

資産運用委員会委員

持続可能な社会を実現する高度なデジタルプラットフォームに、インターネットは不可欠です。今後のインターネット発展に向けた諸課題に対処するべく、引き続き、JPNICの活動を通して貢献して参ります。

理事

理事会
推薦



友近 剛史

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
執行役員
IPバージョンセンター長

分野担当(技術的課題)

昨今の国際情勢における情報発信の重要性の高まりやリモートワークの定着を背景に、インターネットは必要不可欠な社会基盤となっています。さらに安心・安全で快適・便利なインフラを目指し、インターネットの健全な発展に貢献して参りたいと思います。

理事

会員
推薦



中西 貴裕

岩手大学
情報基盤センター
准教授

分野担当(非営利・地域)

広く全国にいらっしゃる、指定事業者やPIAアドレスホルダーの皆様や非営利の皆様とつながり共に取り組んでいけるよう、皆様へ向けた情報提供や、ご意見をうかがえる議論・交流の場の提供に務めてまいりたいと思います。

理事

理事会
推薦



中村 素典

京都大学
情報環境機構
教授

情報セキュリティ委員会委員・分野担当(DRP、セキュリティ)

社会のオンライン化が進む一方でつながりが希薄化する中、デジタル技術に基づく「信頼」は重要なテーマです。インターネットにおける信頼の構築と維持に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

理事

会員
推薦



橋川 和利

ケーブルテレビ徳島株式会社
技術本部 放送技術部

分野担当(非営利・地域)

インターネットの重要性を再認識し、地域の課題を解決するために新たな技術や仕組みを取り入れる等を、会員様をはじめコミュニティの皆様と一緒に考えてまいりたいと思ひます。

理事

理事会
推薦



馬場 聡

北海道総合通信網株式会社
執行役員
企画部部長

分野担当(社会的課題)

世界情勢の激変や生成AIの汎用化に伴い、インターネットの重要性が増してきています。それに合わせて、今までにない社会的な課題も出現してきています。JPNICとして何ができるのか、何をすべきか、会員、ステークホルダーの皆様と考えていきたいと思ひます。

理事

会員
推薦



穂坂 俊之

株式会社QNet
執行役員
経営企画部長 兼 DX推進室長

分野担当(非営利・地域)

インターネットの使われ方は、技術の発展や社会要請への対応などで、これからも変化し続けるでしょう。その変化を受け止められるインターネットの発展に、地方からも取り組んでいきたいと思ひます。

監事

理事会
推薦



青木 邦哲

株式会社ASJ
代表取締役社長

透明性のある運営とコンプライアンスの徹底を図り、組織全体の信頼性向上に努めます。また、急速に変化するインターネット環境に対応するため、時代のニーズを的確に捉えた施策を推進し、皆様のお役に立てるよう尽力して参ります。

監事

理事会
推薦



高田 寛

株式会社まほろば工房
取締役
最高技術責任者

人事委員会委員

インターネット基盤の健全な発展と、インターネットを用いたさまざまなサービスの発展に微力ながら貢献致したく、また監事としてJPNICの健全な運営を守りたいと存じます。

監事

理事会
推薦



南 雄一

ビッグロブ株式会社
執行役員
プロダクト技術本部 副本部長

ネットワークエンジニアとしてのこれまでの活動経験を活かし、監事としてJPNICの健全な運営と日本のインターネットのさらなる発展に貢献してまいります。